



真室川町：紅葉の高坂ダム



2020年11月号
山形県最上総合支庁



若者の声を地域創生に活かす

若者の豊かな発想や行動力を地域づくりに活かしていくため、知事が市町村に赴き若者と車座になって対話を行う「知事と若者の地域創生ミーティング in 鮭川村」が、10月15日に鮭川村農村交流センターで開催されました。

◎主な意見◎

- ・車を使わずに利用できる地域の公民館を活用した、子どもやお年寄りが集える場所づくり
- ・廃校を活用し、村民が気軽に集えるカフェのような居場所づくり
- ・「就業」だけでなく、「起業」や「稼ぐ」ことにも重点を置いたキャリア教育
- ・農産物だけでなく多方面で「鮭川産」をブランディングする地域活性化の取組み



後列左→角田歩さん、八鍬飛陽さん、安彦陽平さん
前列左→伊藤淳子さん、佐藤真弓さん、高嶋美恵さん、熊谷由美子さん



◎知事より◎

年齢、立場、業種がそれぞれ違う方が集まるこのような機会が助け合いのはじまりだと思う。コロナ禍ではあるが、だからこそできることもある。今日のこのつながりを大切にして、皆さんで協力し合い、地域を発展させ、皆さんの思いも叶えて、それぞれの地域・分野で活躍していただきたい。

[総務課 29-1360]

県内主要観光地における新型コロナウイルスの影響現地調査（最上地域）

県内の主要観光地における新型コロナウイルス感染症の影響を把握するため、10月4日に吉村知事が大蔵村の肘折温泉を訪問し、最上地域の観光関係者と意見交換を行いました。

意見交換では、「県民泊まって元気キャンペーンとGOTOトラベルとの併用はありがたかった」「GOTOトラベル終了後の状況が不安」などといった意見が出されました。

吉村知事は「新型コロナが収束するまで、医療提供体制に力を入れながら、皆さんと一緒に経済活動を活性化させていきたい。一緒に頑張りましょう」と呼びかけました。



[観光振興室 29-1311]

目指せ！医療・介護のシゴト

10月28日、県立新庄北高等学校を会場に、医療職や介護職に関心のある最上エリアの高校生約80名を対象に「高校生対象医療福祉座談会」を開催しました。現場でバリバリ活躍している「医師」「薬剤師」「看護師」「リハビリ職（理学療法士）」「技師職（診療放射線技師）」「介護福祉士」の方々に講師を迎え、グループに分かれた高校生がすべての職種の方々と、仕事ややりがいについてざっくばらんに懇談しました。高校生からは「自分がまだ興味をもったことのない分野の話を知れたので、医療についての視野が広がった」「新庄・最上地域で働いてみたいと思った」などの感想が寄せられました。医療や介護の道へ進むことを期待します。

県では、地域の医療・福祉人材確保に向け、学生を対象にした学習会等を今後も実施してまいります。



[保健企画課 29-1257]

地元で働く魅力を知ってください！～若手従業員のリアルなお話～

楽しく！@新庄神室産業高等学校
熱く！@新庄東高校

地元の様々な職場で働く若手社員の方から仕事のやりがいや新庄・最上での暮らしのことなどをお聞きする特別授業を、10月22日に新庄神室産業高校の2年生の女子生徒、29日に新庄東高校のTコース2年生を対象に開催しました。センパイ方は、お手製の“紙芝居”を使いながら、学生時代の話や今の仕事に就いたきっかけなど、楽しく・わかりやすくお話くださり、生徒の皆さんは真剣に耳を傾けていました。

新庄神室産業高校では、協和木材(株)新庄工場：高橋美和さん、(株)オールクリエーション山形支店：武田真紀さん、(株)柿崎工務所：梁瀬優理香さん、(株)リヴィントン：須藤菖さん、パリス保育園：齋藤ほのかさんをゲストにお迎えし、新庄東高校では、山形航空電子(株)：荒木美瑞樹さん、沼田建設(株)：安彦陽子さん、特別養護老人ホーム紅梅荘：菅真希さん、Weスポーツクラブ新庄：日渡祐子さんからご協力をいただきました。

センパイ方の仕事に対する想いや実際の暮らしぶりを聞き、生徒からは、「視野が広がった」「地元の魅力や地元就職の良さがわかった」といった感想が聞かれ、自分の進路や将来を深く考える機会になったとともに、地元企業への理解も深まったようです。

[地域産業経済課 29-1309]



鮎釣りしてみよう！



最上小国川清流未来振興機構では、最上小国川での鮎釣りの振興のため、初心者が友釣りに挑戦する動画を制作しました。

鮎釣りをしたことのない方にもご覧いただき、鮎釣りを始めるきっかけとしていただければ幸いです。動画は次のURLやQRコードから！

フルバージョン

<https://www.youtube.com/watch?v=LGB88XTI8lk>
<https://www.youtube.com/watch?v=TpB6nvU4a70>

ダイジェストバージョン



フル

ダイジェスト



[連携支援室 29-1240]

よりよい公共交通のために

県や市町村、事業者等で構成する山形県地域公共交通活性化協議会では、本年度、公共交通の望ましい姿を明らかにするため、山形県地域公共交通計画の策定に取り組んでいます。

10月5日にゆめりあにて、最上地域の関係者が集まり、公共交通の現状や課題等について意見交換を行いました。

人口減少等により公共交通の維持が難しくなる中、よりよい公共交通となるよう、引き続き取り組んでまいります。



[連携支援室 29-1240]

美しい環境を守り、伝える

第21回「環境やまがた大賞」の選考が行われ、最上地域から新庄市の「福宮チョウセンアカシジミを守る会」が奨励賞を受賞しました。

同会は、地元で生息する絶滅危惧種のチョウであるチョウセンアカシジミ生育のための環境づくりをはじめ、地域環境の保全に係る活動を継続的に行っているほか、観察会の実施や地元中学校においての特別授業を通じて、子供たちに環境保全の重要性を伝えており、その環境保全活動や啓発活動が評価されたものです。

10月19日に県庁で表彰式が行われ、吉村知事から同会の柳生昭雄会長に表彰状が手渡されました。



[環境課 29-1285]

【環境やまがた大賞】



環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会づくりに自主的・主体的に取り組む活動の促進と県民意識の醸成を図ることを目的として、地球環境や地域環境に関する活動において、功績のあった個人又は団体（グループ、NPO、学校等）を顕彰するもの

伝えたい！土木のミリョク



真室川町大字川ノ内地内にある主要地方道真室川鮭川線「栗谷沢橋」は、昭和34年に架橋された老朽橋で、幅が狭い（5.5m）うえ、荷重制限（14t）となっていることから、現在架け替え工事を行っています。

今回、橋の上部工の架設作業を行うにあたり、県立産業技術短期大学校土木エンジニアリング科の1年生15名が見学に来ました。道路事業の必要性や工事概要の説明を受けた後、施工業者である駒井ハルテック・神室工業特定建設工事

共同企業体のご協力により、ボルト締付体験やVR（バーチャルリアリティ）を利用した安全訓練、安全帯を着用した高所作業車の乗車などの体験を行いました。

11月にも、県立新庄神室産業高校環境デザイン科の生徒の見学を予定しています。県では、建設業の魅力や次代の若者に伝えられるよう努めてまいります。



[建設総務課 29-1391]

「秋の最上伝承野菜・うまいものフェア」開催！

秋に旬を迎える最上伝承野菜や最上地域産の農畜産物を使ったメニューが登場！スイーツやパンへ様変わりした伝承野菜もお楽しみいただけます。最上の「うまいもの」をご賞味ください！

- 期間 11月14日（土）～12月13日（日）
- スタンプラリーへの参加、またはクイズへの回答で豪華景品プレゼント！



最上伝承野菜
HP



やまがたの産直
情報 CHECK!
おいしい山形 HP

[農業振興課 29-1316]

火器の取り扱いに気をつけましょう

11月9日から11月15日まで秋季火災予防運動が実施されます。

これから暖房機器の使用など、火器を取り扱う機会が増えるシーズンとなります。身近な火の取り扱いに注意し、火災予防に努めましょう。

また、万が一住宅火災が発生した際、逃げ遅れることがないように全ての住宅に住宅用火災警報器を設置することが義務づけられています。

自分と大切な家族の命を守るため住宅用火災警報器を設置するとともに、警報器が正確に作動するよう、定期的に電池切れがないか確認しましょう。



[防災安全室 29-1209]

・ Information ・

■令和2年度第2回最上地域議員協議会

地域の課題等について、地元議員が審議を行います。県議会の活動を身近で傍聴できる貴重な機会です。どうぞお気軽にご参加ください。

- 日時 11月13日(金)午後3時から
- 場所 最上総合支庁5階 講堂

当日会場で傍聴の受付を行います。



[総務課 29-1211]

■第19回「最上を拓く高規格道路」建設促進合同大会

- 日時 11月17日(火)午後2時30分～4時30分
- 場所 新庄市民文化会館
- 基調講演 上坂 克巳氏

(公財)交通事故総合分析センター 常務理事
(元山形県県土整備部長)

「地域で考える高規格道路の役割と使い方
～最上の未来のために～」

- 意見発表
 - *佐藤 麻衣氏(金山町 株式会社カネカ)
 - *高橋 孝一氏(真室川町 有限会社高菊林業)
 - *早坂 絵梨奈氏(大蔵村 そば処寿屋)

※一般の方は事前申込が必要です。 [建設総務課 29-1391]

■一歩² フェスタ 2020

障がいを持つ方と地域の方との交流の場を広げるイベント「一歩²(いっぽいっぽ)フェスタ」が、今年度は展示をメインとして開催されます。皆様のご来場をお待ちしております!

- 期間 12/5(土)～12/11(金)
- 場所 ゆめりあ「花と緑の交流広場」
- 内容 施設紹介、作品展示
- ※ステージ発表、製品販売は行いません。

[地域保健福祉課 29-1277]

■SNSを活用したセルフブランディングセミナー

情報発信時代に自分を輝かせる技術を学びます。

- 日時 11/28(土)15:30～17:00
- 場所 Cafe Labo(新庄市金沢)
- 対象 ライフキャリアアップを目指す女性20名程度

※託児可能。
事前 zoom 研修会開催を検討していますので、希望の方は担当課(子ども家庭支援課:29-1211)までお問い合わせください。

■第2回森の恵みでつくる建築セミナー

「最上・金山杉を始めとした地域材」を県内で利用拡大する手法について、木造建築に精通した建築士等の提案を学びます。YouTube ライブ配信を行いますので、ぜひご視聴ください。

- 日時 11/28(土)14:30～17:00
- 森の恵みでつくる建築セミナー-HP
<http://mkmorinomics.wixsite.com/seminar>



[森林整備課 29-1351]

■最上農業賞表彰式並びに記念講演会

- 日時 11/19(木)13:30～15:30
- 場所 最上総合支庁5階講堂
- 表彰式 最上農業賞受賞者表彰
○JA おいしいもがみ
北部酒米研究会 指きりげんまん
○株式会社 西塚農場
- 記念講演会
テーマ:中山間地の農業振興
講師:(株)あつみ農地保全組合
- 参加申込
担当課(農業技術普及課:29-1326)に電話で申込みください。

■11月は農業用使用済プラスチック適正処理強化月間です

毎年11月は、山形県の農業用使用済プラスチック適正処理強化月間となっています。農業用に使用されたプラスチック類は産業廃棄物に指定されています。これらを燃やすことにより発生する有害な物質は、環境を汚染し、私たちの体に悪い影響を与えます。

農協が窓口となって回収を行う場合もありますので、積極的に利用しましょう!

[農業振興課 29-1317]

■最上小国川写真コンテスト作品募集中!

最上小国川の魅力を撮影した写真を募集中です。

- 募集期間 11/30(月)まで
- 応募方法 写真に応募票を添え、連携支援室まで
- 詳しくはこちら
<https://seiryu-mogamiogunigawa.jp/>



入賞者には最上小国川流域の特産品をプレゼント!

[連携支援室 29-1240]

▶発行日 令和2年11月1日

▶発行元 山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口

▶電話 0233-29-1360 ▶FAX 0233-23-2605



Twitter

@shinjo_mogami



Facebook



【最上地域にお住まいのみなさまへ】

発熱などの症状がある場合 の受診についてのお願い



11月から受診の方法が変わります！

インフルエンザが流行するこの時期、発熱等がある方は、

受診する前に、必ず電話でご相談ください。

診療・検査が可能な医療機関等をご案内します。

(できるだけ平日の日中の相談にご協力ください。)

かかりつけ※の先生がいる方

※定期的に通院している医療機関

・かかりつけの先生がいない方

・かかりつけ医が休診のとき

かかりつけ医

【対応時間】診療時間内

裏面もお読みください。

新型コロナの分からないことや

不安、予防方法等は、以下の番号

へご相談ください。

山形県一般相談センター

0120-567383

【毎日8時30分～18時】

市町村相談窓口

各市町村窓口にご相談ください

【相談時間】(平日)午前8時30分～午後5時
(※～午後5時15分)

市町村相談窓口	電話番号
新庄市 健康課 ※	29-5790 29-5791
金山町 健康福祉課	52-2111
最上町 健康福祉課	43-3117
舟形町 健康福祉課	32-0810
真室川町 福祉課 ※	62-3436
大蔵村 健康福祉課	75-2111(内271、272)
鮭川村 健康福祉課 ※	55-2111
戸沢村 健康福祉課	72-2364(内151)

山形県受診相談センター

(0120-880006) (フリーダイヤル 24時間)



最上保健所【相談時間】

(29-1268) 午前8時30分～午後5時15分



【受診相談に関するお願い】

- ❖ 受診の相談はなるべく平日日中にお願いします。

夜間や休日などの時間外の相談は

山形県受診相談センター 0120-880006

にご相談ください。24時間対応、無料です。

- ❖ 熱や咳などの症状が出たばかりのときは、検査をしても正確な結果が出ないことがありますので、少し様子を見てからご相談ください。ただし、呼吸困難（息苦しさ）や動けないくらいの強いだるさなどの症状があるときは、すみやかにご相談ください。

【受診のときのおお願い】

- ❖ マスクの着用をお願いします。
- ❖ 定期的な受診以外で医療機関を受診するときは、必ず事前に電話をお願いします。医療機関に到着しましたら、駐車場で車内待機するなど、指示に従ってください。

【家族にうつさないために】

- ❖ 症状があり、自宅で療養する場合は、家族との接触を少なくし、部屋の換気や消毒をこまめに行いましょう。

【その他】

- ❖ インフルエンザの予防接種は早めに受けましょう。

山形県新型コロナウイルス対策応援金の募集

新型コロナウイルス感染症のため医療の最前線で活躍している県内の医療関係者や感染拡大により大きな影響を受けている方々などを支援するため「山形県新型コロナウイルス対策応援金」を募集しています。

◆下記指定口座のいずれかにお振込みください。

◆問い合わせ先 8:30~17:15(平日)

金融機関	口座番号	口座名義
山形銀行 県庁支店	普 3121925	山形県新型コロナウイルス対策応援金 (ヤマガタケンシンガタコロナタイサクオウエンキン)
荘内銀行 県庁前支店	普 1036406	
きらやか銀行 本店営業部	普 2033500	

県 県民活動・防災ボランティア支援室
023-630-3238,2122
最上総合支庁総務課
0233-29-1209

※振込手数料については、ご負担くださいますようお願いいたします。

※詳細は山形県 HP (https://www.pref.yamagata.jp/ou/bosai/020070/korona_kifu.html) をご覧ください。

山形県新型コロナウイルス感染症対策 離職者応援事業

第2期申請期限: 10月14日(水)~11月11日(水)

山形県新型コロナウイルス対策応援金の寄付者の思いを踏まえて、新型コロナウイルス感染症の影響により離職を余儀なくされた県内の労働者を応援するため、山形県新型コロナウイルス感染症対策離職者応援金を準備しました。

◆対象者 新型コロナウイルス感染症に起因して解雇・雇止めされた県内の労働者 ◆応援金 一人一回限り5万円

※詳細は山形県 HP (<https://www.pref.yamagata.jp/ou/shokokanko/110009/koyotaisakutantou/rishokushaouen.html>) をご覧ください。